

開設4周年記念

講演会

武藤 杜夫

Morio Muto



なぜ、少年院で人生が変わるのか？ 生きづらさを抱えた若者たちと私たち

日本中の問題児が集う、塙の中の学校「少年院」を日本一の学校にする。

そんな破天荒な挑戦を続ける、真つすくな目をした一人の法務教官と出会った。

彼の目に映る青少年問題とは、そして矯正教育とはいかなるものなのか？

彼は、どんな未来を見つめ、どこへ向おうとしているのか？

これは彼と、非行少年たちとの、魂の交流の物語。

極限の現実を漂流した彼が、幾千の笑顔と、幾千の涙の果てにたどりついた「こたえ」とは…。

武藤 杜夫

Morio Muto

1977年9月6日 東京都生まれ。
中学生時代から非行が始まり、問題行動が深刻化。ボクシングジムに入り浸り、学校をボイコットしていたため、成績は3年間オール1。おちこぼれの烙印を押される。その後は、ヒッチハイクで全国を放浪するなど浮浪児同然の生活を送るが、教育者としての使命に目覚めると、一転、独学による猛勉強を開始。一発合格で法務省に採用される。2009年には、沖縄少年院の法務教官に着任。逆境から獲得した人間力で多くの非行少年を感化し、更生に導くなど、短期間でめざましい実績を上げる。マスコミの注目を集め、スーパー公務員として将来を嘱望されるが、2017年、幹部への昇任を固辞して突然辞職。同時に、教え子である少年院の卒業生らと「日本子どもみらい支援機構」を設立し、代表に就任する。現在は、沖縄全島を舞台に、非行を始め、不登校、ニート、ひきこもりなど様々な問題を抱える青少年と現場最前線で交流しているほか、講演活動、執筆活動などにも精力的に取り組んでおり、その活躍の場は全国へと広がっている。

【日本子どもみらい支援機構】
mutomorio@gmail.com

琉球新報style(https://ryukyushimpo.jp/style/)より掲載

2018.3.4 (日)

開場 13:00 開演 13:30

場所 うるま市役所本庁東棟
3階 大講堂

対象 どなたでも 定員 150人

入場料・参加料 無料

講師 武藤 杜夫さん(むとうもりお)日本子どもみらい支援機構代表、元沖縄少年院法務教官

申込方法 2月28日(水)までに、電話またはFAX、Eメールでお名前と連絡先をお知らせください。

申込方法 うるま市就職・生活支援パーソナル・サポート・センター
☎098-989-3972 FAX098-989-3971
E-mail:uruma.ps@sasae-uruma.net

